文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（平成21年度～平成23年度）
「オペラ劇場における人材育成システムに関する研究」

昭和音楽大学オペラ研究所 シンポジウム

オペラ字幕のありかたを考える

［日時］ 2011年1月26日（水）
15：00～18：00（開場14：30）

［会場］ 昭和音楽大学 テアトロ・ジーリオ・ショウワ
（小田急線・新百合ヶ丘駅／南口徒歩4分）

◎聴講無料 ◎定員500名

［申込方法］ ＊裏面に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。
＊はがき、E-mailでもお申込みいただけます。
＊入場整理券は1月21日（金）以降にお送りいたします。
＊応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

国内でのオペラ上演に日本語字幕が導入されてから四半世紀が経ちました。現在では多くの聴衆にとって不可欠な存在であるオペラ字幕について理解を深め、そのあり方や発展の可能性を探ることを目的に、シンポジウムを開催いたします。［第1部］では、松本重孝氏と増田恵子氏に、日本におけるオペラ字幕制作の歴史、現状、表現の手法などについて、また映画翻訳・字幕の第一人者である戸田奈津子氏をお招きして、オペラにとっていわば先輩にあたる映画字幕からみたオペラ字幕の課題を、パネル・ディスカッション方式でお話しいただきます。海外オペラ劇場の引っ越し公演を数多く手がけ、長年にわたり字幕に関わってきた広渡勲がモデレーターを務めます。［第2部］では、オペラ作品の歌唱に複数パターンの字幕をつけて、字幕の役割を比較・検証いたします。ぜひご参加下さい。

2010 昭和音楽大学オペラ公演
「ピーア デ トロメイ」より

出演

【パネリスト】

戸田奈津子 *Natsuko TODA*（映画字幕翻訳者）
増田恵子 *Keiko MASUDA*（オペラ字幕制作者・オペラ研究家）
松本重孝 *Shigetaka MATSUMOTO*（オペラ演出家）

【モデレーター】

広渡　勲 *Isao HIROWATARI*（昭和音楽大学教授）
石田麻子 *Asako ISHIDA*（昭和音楽大学准教授）

プログラム

【第1部】

パネル・ディスカッション

オペラ字幕の歴史と現状／字幕の表現手法／
映画からみたオペラの字幕

【第2部】

オペラの歌唱による比較・検証

オペラ上演における字幕の役割
◆三浦克次（バス・バリトン）ほか出演予定

戸田奈津子 東京都出身。津田塾大学英文科卒。清水俊二に字幕づくりの手ほどきを受ける。80年の「地獄の黙示録」で本格的なプロとなって以来、1500本以上の作品を手がけ、「E.T.」「スター・ウォーズ」「タイタニック」「ハリー・ポッター」「ラスト・サムライ」「レッドクリフ」「アバター」などを担当。来日する映画人の通訳も依頼され、長年の友人も多い。著書に『字幕の中に人生』（白水社）など。

増田恵子 東京都出身。国立音楽大学教育音楽学科卒業。1987年よりオペラ字幕の仕事を始め、イタリア・オペラをはじめドイツ、フランス、ロシア、チェコなど各国のオペラの字幕を翻訳の専門家と共に作成し、現在までに400本以上の作品を手がけた。オペラ研究家としてはオペラ公演のプログラム、CDやDVDの解説、雑誌等の執筆活動を行い、川崎市でのオペラ講座では舞台裏の体験談を交えたトークで好評を得た。

松本重孝 東京都出身。演出を栗山昌良、佐藤信、粟國安彦に学ぶ。84～85年イタリアで研修。92年に藤原歌劇団の《椿姫》で演出家としてデビューを果たし、その後、新国立劇場、藤原歌劇団、日本オペラ協会、関西歌劇団、関西二期会をはじめ、各地で数多くの作品を演出し、高い評価を得ている。最近では藤原歌劇団の《カルメル会修道女の対話》、《タンクレーディ》の演出が好評を博した。

広渡　勲 福岡市出身。早稲田大学で郡司正勝に師事。東宝演劇部を経て、日本舞台芸術振興会（NBS）に移籍、制作プロデューサー兼技術監督として世界の主要歌劇場やバレエ団の招聘を成功に導いた。演出家としても08年の兵庫県立芸術文化センター《メリー・ウィドウ》等で成功を収め、同劇場での11年《こうもり》の演出も決まっている。2000年フランス政府から芸術文学章シュヴァリエを叙勲。

［主催・お問合せ］ **昭和音楽大学舞台芸術センター オペラ研究所 Tel 044-953-9858**

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺1-16-6 Fax 044-953-6652 E-mail opera@tosei-showa-music.ac.jp URL http://www.tosei-showa-music.ac.jp/opera/
Contact：Opera Research Center, Showa University of Music 1-16-6 Manpukuji, Asao, Kawasaki, Kanagawa 215-0004 Japan Tel +81-44-953-9858 Fax+81-44-953-6652

［協力］「音楽のまち・かわさき」推進協議会 音楽のまち・かわさき しんゆり・芸術のまちづくりフォーラム

昭和音楽大学舞台芸術センター オペラ研究所

昭和音楽大学舞台芸術センター オペラ研究所は、オペラ劇場の運営と芸術振興を中心に調査·研究を実施しております。

これまでに文部科学省特別補助「オープン·リサーチ·センター整備事業」(平成13〜19年度)により国内外のオペラ劇場運営の現状と我が国の文化芸術振興策についての研究、『日本オペラ史 〜1952』の刊行、東京藝術大学「アートマネジメント人材の育成に関する調査研究」への協力、「オペラを中心とした音楽情報·資料の収集および活用に関する調査研究」の実施などの成果をあげてきました。

現在は「オペラ劇場における人材育成システムに関する研究」(文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業)、「アートマネジメント人材を活用した多機能型音楽活動の推進による「神奈川モデル」の構築」(神奈川県との共同事業)、『日本のオペラ年鑑2009』ならびに『日本オペラ史 1953〜』の編纂などを推進しております。

http://www.tosei-showa-music.ac.jp/opera/

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

「オペラ劇場における人材育成システムに関する研究」

このプロジェクトはオペラに携わる人材を育成するシステムの構築をめざして、(1)国内におけるオペラ人材育成の現状調査、(2)海外のオペラ劇場におけるオペラ人材育成の現状調査、(3)公開講座、ワークショップ、研究会等の開催を柱に、研究を進めております。

プロジェクト研究員

石田 麻子	昭和音楽大学准教授	竹本 義明	名古屋芸術大学学長
井上 建夫	びわ湖ホール館長	中村 孝義	大阪音楽大学理事長·学長
ドナ·エリクソン	昭和音楽大学教授	平野 満	コレペティトゥア、ひろしまアステールプラザ
大島 正博	(公財)神奈川芸術文化財団事務局次長	広渡 勲	昭和音楽大学教授
岡山 廣幸	昭和音楽大学教授	星出 豊	昭和音楽大学教授
小畑 恒夫	昭和音楽大学教授	三澤 寿喜	北海道教育大学教授
酒井 健太郎	昭和音楽大学専任講師	水谷 彰良	音楽研究家、日本ロッシーニ協会会長
鈴木 とも恵	昭和音楽大学専任講師		50音順

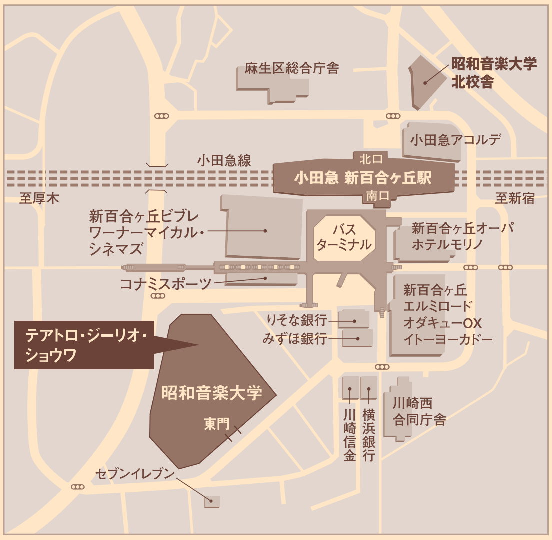
2011年1月26日(水) オペラ研究所シンポジウム 参加申込書

FAX:044-953-6652

昭和音楽大学 舞台芸術センター **オペラ研究所**

以下に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込み下さい。
(FAXをご利用になれない場合は、はがき、E-mailでも結構です)

[E-mailでの申込先] opera@tosei-showa-music.ac.jp
[はがきでの申込先] 〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺1-16-6
昭和音楽大学オペラ研究所



お名前	フリガナ (歳)	申込日	2010年 / 2011年 月 日
ご住所	□□□-□□□□ 都・道・府・県 市・郡・区 ※郵便物が確実に届くよう、建物名、社名、部署名までご記入ください。		
電話番号	( ) —	FAX番号	( ) —
E-Mail	@		
勤務先(学校名)		役職(学年)	
日中のご連絡先	( ) —		
このチラシをどちらで入手されましたか	昭和音楽大学内で DMで ウェブサイトで その他( )		
今後の催しのご案内を希望されない方は□にチェックしてください	□ 今後の案内を希望しない		

◎ 定員500名。定員を超えた場合は抽選とし、
結果は1月21日(金)以降にはがきで全員にお知らせします。

申込締切 2011年1月16日(日)必着

◎ 複数名でお申し込みの場合は、申込書をコピーしてお申し込みください。

*ご記入いただいた内容は、入場整理券の送付ならびに当研究所·本学の催しのご案内に使用させていただきます。それ以外の目的では使用しません。